



こんにちは、岡田よしひでです

2022年4月17日発行
県議会活動報告ニュース
NO.122

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



香長平野は田植えが進んでいます(4月13日=南国市)

35人学級にみあう教員配置を

定例会

皆さんのご努力により中学校全学年に35人学級が導入されることになりました。学級数が増える学校は何校あるのか、そのうち6学級に届かず教員数が変わらない中学校は何校となるのか。また、本県の配当基準を見直し、今回の授業時間数増に対応できる教員数を配置するよう求めました。

教育長は、令和4年度に35人学級を実施した場合に、学級数が増加する学校は29校あり、そのうち学級数が増加

しても、3学級から5学級の範囲となり教員数が増えない学校は5校程度になると想定しています。

学校現場からは、学級数が増えることで、学校全体の総授業時間が増加するにもかかわらず、教員数の増加がないので教員の負担が増すとの声が聞かれておりました。

そのため、現行の基準では35人学級編成を導入しても教員数の増加がない学校については、特別に1名を加配措置することとし、対象となる全ての中学校において35人学級編成を導入していただきたいと考えております。と答えました。

教員定数の正常化について

2021年度(令和3年度)の小学校教諭の充足率はどう改善されたのか。また、新学期当初の学級数に応じて配分される教員定数内の臨時教員数はどう改善されたのか、新年度の改善目標とあわせて聞きました。

教育長は、本県の小学校教諭等の充足率は令和2年度が97.3%、令和3年度が98.3%となっており、前年度に比べて改善傾向にあります。中学校は105.3%となっており、小学校においても100%の充足率をめざして改善に務めてまいります。

おむすび通信 (122)

4月の新学期当初において、県の基準に基づき学級数に応じて配置される教員定数内の臨時教員数は、小学校で令和2年度が50名で、令和3年度は36名と14名の減、同様に中学校では、令和2年度が46名で、令和3年度は44名と、2名の減と共に改善傾向となっております。学校の統廃合や児童生徒の転出入などに対応するため、一定の臨時教員の配置は必要であると考えますが、できる限り正規教員の配置割合を増やしていくよう、今後も、務めてまいります。と答えました。

4月10日投票で香南市議選・県議補選がたたかわれました。

おかげ様で日本共産党は現職の馴田文雄さん、樽本ふさこさんの市議2議席を確保できました。私も支援に行きました。

また県議補選では、立憲の候補を自主的に支援しましたが残念ながら議席に届かず、二人の女性候補が当選しました。

さて、地元の人が、わが家にウクライナ支援金を届けてくれました。国際赤十字など関係機関にお渡ししています。

香長平野では田植えが進み水田に緑が蘇ってきました。